

議会だより 上野原市

第32号

平成25年1月25日発行

市民と議会を結ぶ架け橋



"ゆく年くる年" 大晦日の晩から年明けにかけ、恒例行事として行われている奥平青年会による餅つき
(四方津地区鼓楽神社)

12月定例会



Uenohara City

主

■ 第4回定例会……………P2

な

■ 定例会の議決結果等一覧表 ……P3

記

■ 委員会報告 …… P4～P8

事

■ 一般質問 …… P9～P14

■ 発議・第1回定例会 会期日程のお知らせ………… P15

■ 市民の声・議会活動・あとかぎ …… P16

第4回定例会

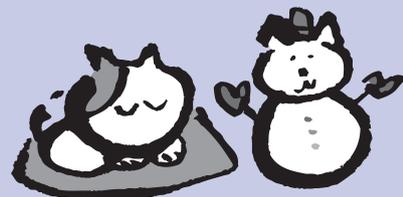
一般会計補正予算

1億2,425万9千円を増額し、
106億627万8千円に決定!

特別会計補正予算

4,648万8千円を増額し、
68億2,734万1千円に決定!

(内訳)	国民健康保険	52,912千円
	後期高齢者医療	864千円
	介護保険	△427千円
	公共下水道事業	△10,548千円
	簡易水道事業	3,220千円
	教育奨励資金	467千円
	島田財産区	(差引)0円



平成24年第4回定例会は、11月29日(木)から12月14日(金)までの16日間の会期で開催され、市長提出の条例制定や補正予算など25件に加え、発議1件を審議しました。委員会に付託された案件につきましては各委員会報告を、議決結果等につきましては次ページをご覧ください。

なお、上野原市ホームページで会議録を公開しておりますので、是非ご覧ください。

市長提出議案 25件

専決処分	2件
条例制定(一部改正・廃止含む)	11件
平成24年度補正予算	9件
指定管理者の指定	2件
市道路線の認定	1件

議員提出議案 1件

規則制定(一部改正)	1件
------------	----

平成24年第4回定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対●
賛成討論者◎ 反対討論者◎)

種別	議案番号	案件名	付託委員会	氏家隆信	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	小俣宏之	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	久島博道	服部光雄	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果		
専決処分	第99号	上野原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	第100号	平成24年度上野原市一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
条例制定・改廃	第101号	上野原市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定について	文教厚生																			原案可決		
	第102号	上野原市市道の構造の技術的基準を定める条例制定について																						
	第103号	上野原市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例制定について																						
	第104号	上野原市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例制定について	建設経済																					
	第105号	上野原市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定について																						
	第106号	地域の自主性及び自主性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	第107号	上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について																						
	第108号	上野原市公告式条例及び上野原市役所支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について	総務																					
	第109号	上野原市公民館条例及び上野原市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例の一部を改正する条例制定について																						
	第110号	上野原市暴力団排除条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																					
	第111号	上野原市老人医療費助成金支給条例を廃止する条例制定について		○	●	●	●	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	○	○		○	
平成24年度補正予算	第112号	上野原市一般会計補正予算(第5号)	総務・文教厚生・建設経済																			原案可決		
	第113号	上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)																						
	第114号	上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教厚生																					
	第115号	上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	第116号	上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	建設経済																					
	第117号	上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)																						
	第118号	上野原市教育奨励資金特別会計補正予算(第1号)	文教厚生																					
	第119号	上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)	総務																					
	第120号	上野原市病院事業会計補正予算(第2号)	文教厚生																					
	その他	第121号	上野原市新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定について	建設経済																				原案可決
第122号		上野原市上野原スポーツプラザ市民プールの指定管理者の指定について	文教厚生	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第123号		上野原市道路線の認定について	建設経済																					
発議	第5号	上野原市議会会議規則の一部を改正する規則制定について		○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

委 員 会 報 告

文教厚生

尾形 幸召 委員長



校長より説明を受ける委員(秋山中)

十月二十四日、閉会中の継続調査として秋山中学校・上野原西中学校を教育長、教育学習課職員、委員全員出席のもと現地に向かいました。

秋山中学校では岡部校長、小坂教頭に対応して頂き調査を行いました。

全生徒数五十二名ですが、家庭や地域社会との連携を強化し、道路清掃など地域密着型教育も推進され、人間性向

上教育の理念も伺うことができました。

教育現場である学校施設の修繕要望も確認できました。

①体育館は老朽化し雨漏れが発生している。非常時は地域住民の避難場所であり、食料・毛布など、修繕と備蓄の充実を図ってほしい。②グラウンドのフェンスが低く野球ボールが校外に飛び出し危険である。雨天時、

教室と体育館への移動はグラウンドの水はけが悪く不便である。③校舎裏側の山腹法面の吹き付けに多数の亀裂が生じ危険な状況と化している。④学校入口付近の県道は見通し悪く危険である。以上の要望事項が問題点として提起されました。

上野原西中学校では小松校長・星野教頭に対応して頂き調査しました。

全生徒数二百二十八名ですが、市内の他校に比較し活動しやすい新しい校舎であり、地域との連携・交流も強化され、部活動の充実も図られていました。

いじめ問題については、公費負担によるQ.U検査を実施し状況把握に努めているとのことでした。この検査は集団の中でどのような考えがあるのか、個人データと集団データの両面から専門的に判断され、いじめや不登校などの問題行動の予防と対策に効果があるといわれ



上野原西中での委員会風景

ております。学校独自の検査も行なっており、気になる生徒には、担任による二者懇談、学年での協議も実施し、学校全体に関係する事項は運営委員会でも善後策を検討するなど多角的対応が行われており、いじめの定義に基づくいじめは存在していないとのことでした。

提起された問題は二十五年以降の生徒数減少に伴う学級数の減少で、教員数も3・5人減少することとなり、学校経営のシステム変更を考える必要があるとのことでした。学校施設には特に問題はありませんでした。前回調査の上野原中学校放送設備の改修、今回調査の体育館雨漏れ修繕等は、緊急時の避難対策として早急に予算計上し、安全対策に取り組むべき事項である旨、要望しました。

閉 会 中 の

建設経済

尾形 重寅 委員長



特産品開発について説明を受ける委員

第三回定例会で議決されました閉会中の継続調査として、地域ブランド及び特産品の開発について、十一月八日、先進的な取り組みを行っている栃木県茂木町の視察を行いました。

茂木町は、栃木県の東南端の茨城県境に位置し、人口は約一万四千三百人、面積は上野原市とほぼ同等の百七十二平方キロメートルで、その七

割を山林が占めていま

す。主産業である農林業の振興を図り、特産農産物の活用や、地域の特色を生かした農工商連携による六次産業化を積極的に推進し、「雇用の創出も図るなど、様々な町おこしを検討し、町の政策と一致した国庫補助事業「地域雇用創造推進事業・実現事業」を導入されました。

推進事業は、「農工商連携、六次産業化による地域活性化と新たな雇用創出」をテーマに掲げ、特に農産物の特産品開発については、遊休農地を活用した、そば、えごま、小麦等の作付けや地産地消に取り組み、販売促進までを行う六次産業化を推進しています。

また、実現事業では、推進事業により育成した人材を活用することで、ゆずなどの豊富な地域資源を活用した特産品の開発、製造方法、販売方法、ネット販売システムなどのノウハウを供与し、地域事業者の商品開発力、販売力を向上させるとともに、地場産品を活用した地域固有の料理の開発、入込客の増加、さらには、一層の雇用創造を見込んで取り組んでいるとのことでありました。さらに、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業を導入し、茂木町特産品加工所を建設し、



茂木町特産品加工所を視察する委員

六次産業化の拠点施設として、町の特産品である、ゆず、ブルーベリー、イチゴなどの農産物を一次加工、保管、販売するとともに、施設内では、オリジナル商品の開発も行って行っていました。

茂木町においては、有利な補助事業等を導入する中、生産から販売までを行う六次産業化の政策で地域の活性化を図るとともに、雇用の創出も行

い、大変効果的な取り組みが行われていました。当局には、今回の視察調査結果を十分参考にし、上野原ブランドの開発の推進に取り組むよう要望しました。



総務常任委員会報告

委員長 岡部 幸喜



慎重に審査する委員

十二月六日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。（議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照）

●議案第百八号
巖出張所の移転に伴い条例の改正を行うもの。

●議案第百十二号
主な歳入では、土地売却収入として九百二万四千円増額補正するほか、今回の補正による財源調整により、繰越金を三千七百八十五万六千円増額するもの。

等による法人市民税の還付金として、三百万円の増額、防災諸費では、J・ALERTシステムを音声告知端末に接続し配信するため、修繕費に二百五十一万二千円を増額する一方、孤立集落対策として予算計上されていた衛星携帯電話及び発電機について、設置希望がなかったことから、備品購入費を三百四十六万二千円減額補正するもの。

選挙費では、任期満了に伴う上野原市長選挙の

歳出の主な補正内容は、総務管理費では、巖出張所仮設庁舎設備工事に二百万円、旧甲東小学校跡地の芝生化に伴い、管理事務所整備事業に八百万円増額補正するもの。

●議案第百十九号
田野入地区災害未然防

執行に当たり、複数の立候補者が見込まれることから、公費負担に係る経費などに百六十五万八千円を増額補正するもの。

また、公債費では、平成十三年度債の利率見直しや平成二十三年度債の利率確定に伴い、一般単独事業債や臨時財政対策債などの償還金利子、合わせて千四百四十万三千円を減額補正するもの。

止及び環境整備事業に伴う地元交付金や老人クラブ島田桂生会の備品購入に伴う交付金を増額補正するもの。

当局提出三案件については、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

所管事務調査

旧役場跡地の今後の活用について、現在整備が行われている「仮称旧役場跡地憩いの広場」の進捗状況について調査しま

した。

当局説明によると、全体面積二千七百五十六平方メートルのうち、バスなどの車両が進入できる広場として、六百七十五平方メートルをアスファルト舗装した他、県道沿いの歩道設置など、今年度事業は既に完了し、残り二千平方メートルについては、来年度整備する予定とのことでした。

委員からは、憩いの広場ではなく、交付税算入の対象となる都市公園として整備すべきとの意見や、将来的な土地利用にも配慮したうえで、整備すべきなどの意見が出されました。

当局としても、現在は、憩いの広場として進めているが、防災機能を有した公園として整備したいとのことでした。

今後の計画は、芝生化に加え、緊急時に防災機能が発揮できる広場として、緊急避難所となる防災東屋、公衆トイレ、緊急用トイレの設置スペースなどを整備したいとのことで、防災対策事業債など有利な事業の活用も検討していきたいとのことです。



整備中の旧役場跡地

文教厚生常任委員会報告

委員長 尾形 幸召



慎重に審査する委員

十二月十日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。（議案名は三ページの議決結果一覧表を参照）

●議案第百一号
監督業務を行う簡易水道布設工事の基準と監督業務を行う者の資格基準及び水道技術管理者の資格基準を定めるもの。

●議案第百九号
四方津公民館を上野原西小学校屋内運動場に移転することに伴い、所要の改正を行うもの。

止するもの。

●議案第百十二号
主な補正予算の内容は、生活保護扶助費に三千三百九十万六千円の増額、重度心身障害者医療費助成金などの障害福祉事業費に二千百十五万五千円、自立支援給付費扶助費に二千四百四十八万円増額。出産奨励祝金四百万円、新保育所建設に伴う旧四方津小学校解体工事費に二千八百二十八万七千円増額。スクールバス駐車場整備費に百三

十九万四千円、国民文化祭山梨県大会事業費に百十八万円、諏訪地区多目的スポーツ広場整備費に百五万四千円の増額補正。

●議案第百十三号
一般被保険者療養費の負担金七百十四万六千円、国保給付費等負担分返還金等に四千四百六十一万六千円の増額補正。

●議案第百十四号
広域連合システム機器更新時作業委託料の増額に伴い、八十六万四千円を増額補正。

●議案第百十五号
地域密着型介護サービス給付費一千百四十三万四千円、高額介護サービス費二百三十九万七千円、特定入所者介護サービス費八百七十一万二千円の増額補正。

●議案第百十七号
柵頭簡易水道本管空気弁修繕など施設管理費を百六十九万七千円、秋山簡易水道漏水修繕など管理費に百三十二万八千円

増額補正。

●議案第百十八号
大学等奨学資金貸付金を百万円増額。

●議案第百二十号
企業債支払利息を百九十六万八千円減額し、新病院移設に伴う消防施設等移設改修費等に伴う修繕費増額及び財務会計システム修繕費に同額を増額補正。

●議案第百二十二号
平成二十五年四月一日から三年間、現管理者の（株）ふじスポーツクラブを引き続き指定管理者として指定するもの。

当局提出の十二議案の審査は議案第百十一号に反対意見がありましたが、採択の結果賛成多数で可決すべきものと決しました。



整備予定の諏訪地区多目的スポーツ広場

また、諏訪地区多目的スポーツ広場の整地について、経常経費に賃金や原材料費が計上されたが、地元が事業主体であることから、本来は補助金として交付すべきであり、今後他地区からの要望も見込まれる中、整合性のある予算執行となるよう委員会の付帯意見としました。

建設経済常任委員会報告

委員長 尾形 重寅

●議案第百二二号（議案第百五号）
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、法律で規定されていた内容を、そのまま条例に規定するものです。

十二月十二日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。（議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照）



慎重に審査する委員

等、鳥獣対策事業費全体で二百二十六万六千円を増額するもので、委員からは、年々増大する鳥獣被害の状況を踏まえ、防除ネット購入費補助金に

ついては、補助対象条件の緩和を図り、幅広く市民が利用できる制度となるよう要望が出されました。

●議案第百二二号
各地で後を絶たないイノシシ・サル・シカなどによる農作物被害の対策として管理捕獲数を大幅に増加したことから、

猟友会への補助金や鳥獣害防除ネット等購入費補助金

観光費では「与謝野寛・晶子」の歌碑を設置するための備品購入費や、パンフレット印刷製本費などに、百八十四万

●議案第百十六号
下水道料金管理システム端末の入れ替えに伴い、四十五万二千円を増額し、また、国庫補助金の確定に伴い工事請負費を一千百万円減額補正するものです。

一千円を増額するものです。
なお、歌碑の設置場所は未定ですが、龍門峡と依水荘が見渡せる河川敷沿いを検討しているとのことでした。
四方津駅バリアフリー化事業については、契約差金を百十五万五千円減額するとともに、来年度に事業を見送った都市計画等検討業務委託料を五百二十五万円減額し、また、市営住宅の修繕費に百五十万円増額補正するものです。

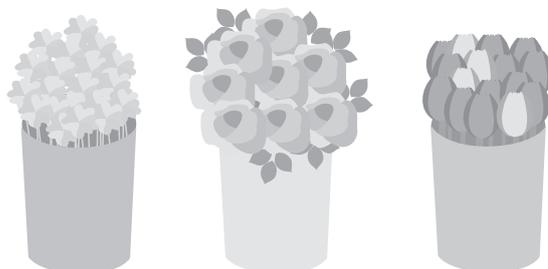
●議案第百二十一号
現管理者の「株式会社ネスパ」が、平成二十五年三月三十一日をもって

以上、当局提案の八案件について採決したところ、全会一致で異議なく、原案どおり可決すべきものと決しました。

●議案第百二十三号
上野原市大字鶴島字下田野入四千二百八十三番四先から字柿ノハタ四千四百四十一番先を、市道路線「西下田野入線」として認定するもので、これについては、併せて現地確認を行いました。



市道路線「西下田野入線」の視察



一 般 質 問

第四回定例会では、十二月三日及び五日の二日間にわたり、十一名の議員が市政一般に関する質問を行いました。

東山洋昭議員	P 9
服部光雄議員・川島秀夫議員	P10
氏家隆信議員・尾形幸召議員	P11
小俣 修議員・山口好昭議員	P12
久嶋成美議員・長田喜巳夫議員	P13
村上信行議員・久島博道議員	P14



東山洋昭 議員

料条例について

質問 現在、減額・免除以外の理由で使用料を納めていない個人や団体は存在するののか。

答弁 教育学習課長 西原 公民館、四方津公民館、秋山地区公民館は、過去の経緯の中でそういう手続きがなく、一般に開放している施設があります。

再質問 所定の手続きを踏んで減額・免除申請をしたたり手数料を払うのが一般的であり、市民に対して公平公正ではない。すぐに是正をすべき問題だが。

答弁 教育学習課長 色々な面で見直しをする時期が来ていると考えています。それらも含めて、その減額・免除の措置についても適正な対応を考えていきます。

人事考課制度について

質問 リーダー制について、立場とメリットは。

答弁 総務部長 リーダー

は課長が選任します。また、管理職ではありません。リーダーになったときの職員のメリットは、将来的なキャリアアップ、要は仕事を極めてスキルアップをし、技術的なものを高めて上位職の段階へ進めるような資質を身につけることができると考えています。

質問 女性職員登用等についての現状は。

答弁 総務部長 当市の職員全体における女性職員の割合は三十一％で、全国平均であり、担当リーダーの選任はありますが、女性管理職の登用率は現状ゼロです。

意見 有能であって、やる気がある方、また、やる気の出るような女性職員の積極的な登用を一日も早く実現していただきたい。女性であればこそその発想も出て、そういうものは今すぐに必要ではないか。

新市営住宅建設予定 進捗状況は。
答弁 建設経済部長 現在、市営住宅の具体的な計画はありません。
意見 公共施設の建設前に、地域住民はもとより広く市民の方に対して市は、十分な説明責任を果たしていない。市民にしっかりと説明をし、要望、意見、批判等を持ち帰って、再度協議し、案件となっていたことに對しての市の考え方を説明し、多くの市民に賛同いただくという丁寧さが欠けている。今後しっかりと説明責任を果たしていただきたい。

公民館使用に関する使用



服部光雄 議員

その他質問

- ◆四方津保育所・公民館・支所について

情報通信基盤整備事業

【質問】 九月定例会で企画課長から「コンサルタント会社はこの事業の利活用について調査を委託し、外部委員に委嘱してU B Cと市との関りについて検討してもらって、十二月中には結果を報告できる」との答弁があったが、いつ報告できるのか。

【質問】 U B Cとの間で争点となっている来年度以降十五年間で総額四億円を市に支払う「情報通信基盤整備事業の助成に関する協定」や「R U 契約の見直しなどはどうなっているのか。

【質問】 U B Cから「助成に関する協定」の破棄や「行政利用放送無料活用に関する協定」の見直し（有料化）が求められています。

【質問】 U B Cがそれを行うなら十八年三月に始まるU B Cの特許問題も問わなければならない。U B Cとの間に多くの問題が残されているがその一方で、五千世帯もの人達がU B Cを通してテレビを視聴している事実があり、これを理解しないで次の市長がこれを取り扱ってもらう

【質問】 計画の進捗状況は、



川島秀夫 議員

その他質問

- ◆高齢者等見守りネットワークについて
- ◆「寄り添い支援」パーソナル・サポート体制について
- ◆四方津駅バリアフリーについて委託調査後のスケジュールは

厳保育所建設問題について

【質問】 国の方針の少子化対策、幼稚園と保育所の扱い一体化が実現したとき、この新施設は将来対応できるのか。

得られました。

市役所からの説明不足の指摘もあり反省をしていますが、厳・大目・甲東地域の子育て環境整備を行う事業であることとの理解で話しがまとまりました。

【質問】 緊急通報システム（ふれあいペンダント）についてお尋ねします。

市道よりも、毎日の通行量ははるかに多い。大災害時の修復も不可能な現実であり、コモアブリッジ公道化、市道化への検討について考えをお聞かせ願いたい。

【質問】 コモアブリッジ公道化、市道への認定要望ですが、今後、あらゆる角度から検証を含め、どのような方策があるのかを、引き続き検討していきたいと考えています。

【質問】 コモアブリッジ公道化、市道への認定とバリアフリー化はどうしても切り離せない問題と考えています。



氏家隆信 議員

その他質問

◆子育て環境について

一般質問について

質問 一般質問の後、その質問内容についてどの様に検討会議が行われ、政策に取り込んでいくのか実態は。

答弁 総務部長 議会閉会后、担当課を中心に検討を行い、予算措置、長期計画への掲載、位置づけ等を行い、上野原市の政策に反映をしています。

情報公開の改善について

質問 市民にわかりやすく政策や市政を知ってもらうために、将来を左右する政策や事業、反対が予想される事業に対しては、早い段階での情報開示が必要だと思うが。

答弁 総務部長 政策実施に向けたそういった論議というのは確かに必要です。市側の説明不足の点が指摘されています。今後、念頭におきながら、市政推進に努めていきます。

意見 地方主権が言われている中で、市民と一緒に

に一步一歩進んでいくという市政を望みます。

教育について

質問 生涯学習を楽しんでもらうことから始めることも啓発事業の一つだと考えますが。

答弁 教育学習課長 生涯学習の啓発に重点をおいて、市民協働という形で自主的・自発的な活動が営まれるように、必要な支援を行ってよく考えています。

現在、上野原市の社会教育計画を策定中です。

計画の中では、人材バンクの整備、当市の中に講師をやってくれるような方とか、また、どんな活動をやっているサークルがあるのか、そういったものをウェブサイト等を活用する中で紹介をしていくというような項目も現在あります。この社会教育計画の策定を受けて、この計画に基づいて社会教育の充実に努めてまいりたいと考えています。

す。

質問 家庭教育の底上げを社会全体で考えて発想しては。

答弁 教育学習課長 学校教育についてはある程度体制が整った中で学習指導要領に基づいて、「生きる力」をメインテーマとして進められています。が、家庭教育ということになりますと、個々の家庭に任されている部分があります。

家庭教育講演会、青少年の育成の関係の活動等に参加していただけない方々に、家庭教育の大事さ、重要性を浸透していくのが課題です。

この部分にどう我々教育行政がかかわっていくのか、具体的な政策が出していけたらと考えています。



学校施設の管理について

質問 上野原中学校の放送施設、他改修の件は。

答弁 教育学習課長 非常時の情報伝達について非常に重要な部分になることは認識しています。現放送設備では三回同じ放送を繰り返さないと一斉に校舎内外への放送ができない設備です。現在、対応策を業者に依頼、対策を講じます。

質問 秋山中学校体育館施設の改修の件は。

答弁 教育学習課長 一部対応できる部分につきましては、今年度予算の中で対応を予定しております。屋根の改修については、長期計画の中に位置付け、二十五年設計、二十六年改修工事を行う予定です。

質問 施設改修のための二十五年設計は。

答弁 教育学習課長 二十五年設計は、これは予算要求となりますが、長期計画のヒ



尾形幸召 議員

アリングの中で一定額の修繕費確保に向けた要求をしています。予算の範囲内で重要度・緊急度を勘案しながら順次改修を進めます。

要望 緊急事態発生となれば校舎内外への一斉放送は瞬時に伝達しなければなりません。また、体育館は住民の避難場所です。食料・毛布などの数量確保は必須条件です。

質問 ネットワークについて

答弁 建設経済部長 設計内容や概算の事業費等について、詳細な精査、確認作業をネットワーク日本にお願ひしています。あくセス道路等の整備事業から、小型車限定の供用開始を目標に、ランブの規格をC規格として設置計画を進めてきましたが、セミトレーラー等の大型車両の誤進入に対するリスク回避を主目的

とした上位のB規格へと修正作業中であり、設置計画案の最終的な確認作業を行なっております。

質問 第二回準備会は開催できたか、その結果は。

答弁 建設経済部長 十一月六日に第二回目の会議を実施、協議すべき検討項目、実施計画書等問題がなく地区協議会への移行同意を得ました。

質問 準備会で検討項目の問題解決は出来たか。

答弁 建設経済部長 ほぼ問題ありません。細かい点につきましては地区協議会までに対応します。

答弁 市長 二十五年一月を目途に地区協議会を立ち上げ、そこで賛同されますと連結申請に本格的に進みます。その結果、西部地区開発のためのプロジェクトも組んでいます。





小俣 修 議員

その他質問

◆害獣駆除対策

人口減対策

質問 当市へ転入した後出産した場合には、出産奨励祝金の性格から、支給出来るような条例に改めるのが適当と考えるが。

答弁 福祉保健部長 出産時の奨励祝金ですが、トータル二年というような制限的な話もありますが、それらを考慮した中で前向きに検討していきたいと思えます。

質問 市内の中学生、上野原高校の生徒等に意識調査を実施し、若い人達がどういう考え方を持っているか、どうすれば市内へ定住を促すことが出来るか、対応するプログラムを考え、対処していく事が大切、必要と考えるが。

答弁 企画課長 人口動態を見ましても、転出などによる若い世代の減少が目立っており、人口減少が及ぼす影響は将来に向けた大きな問題の一つと考えておりま

す。今後何らかの方法でそういった事を把握していきたいと思えます。

上野原駅周辺整備事業について

質問 上野原駅南土地地区画整理組合設立準備会の活動状況は。

答弁 駅周辺整備推進課長 準備会役員が中心となり事業説明会や個別相談会を実施しています。

減歩はどれくらいを想定しているのか。

答弁 駅周辺整備推進課長 減歩率については現在事業計画の策定中であり、土地区画整理事業計画の中で検討しており、まとまり次第関係地権者にお知らせする予定です。

この事業は旧町内の利便を考えると北口の整備も欠かせない。階段をスロープ状の道路にする事と関山第一橋経由の通勤・通学者等の為、県道へ出た所から左下の雑木林の中にスロープ状の

歩道を設置したらどうか。

答弁 駅周辺整備推進課長 策定予定の交通バリアフリー基本構想をもとに、既存階段の改善や北口道路のあり方など土地利用に配慮した整備内容を検討していきます。

中山間地域のインフラ整備について

質問 インフラ整備の要請は二十四年度は何件来ているのか。

答弁 建設経済部長 二十三年度は大体五百件位であり、二十四年度は文書によるもの十五件、口頭では今までと同じような状況です。

企画課長は旧秋山村と合併時、道路建設事業は五億七千四百万円と言っています。二十四年度の道路建設事業費は。

答弁 建設経済部長 二十四年度の予算額は二億四千八百六十七万七千円です、この他に一億円程度が上乗せされると思いま

す。



山口好昭 議員

当市の教育行政について

質問 学校の適正規模、適正配置の経緯と経過は。

答弁 学校適正配置推進課長 学校適正化審議会

の答申に基づき、二十年四月に桐原中・西原中が上野原中へ統合、二十一年四月に平和中・巖中の

校名が上野原西中に統合し、小学校は二十三年四月に四方津小・沢松小・大目小・甲東小の校名が

上野原西小に統合、二十四年四月に大鶴小・桐原小が上野原小に統合し、

八校が閉校となりました。

最終的な適正配置編成方針は。

答弁 学校適正配置推進課長 中学校は上野原中・

上野原西中の二校で、島田中・秋山中は上野原西

中に統合、小学校は上野原小・上野原西小・秋山

小・西原小の四校で、島田小は、上野原西小への

統合が見込まれます。

統合は地域の過疎

化が心配、活性化策は。

答弁 市長 人口減少の中で審議会の答申に従い統合を行ってきました。百年以上続いた学校の閉校は耐えがたいが子供の将来を考えて地域や保護者の理解を頂き進めてきました。諸施設の活用を積極的に進め地域力を高め活性化を図ります。

旧桐原のグラウンド、体育館の使用状況は。

答弁 教育学習課長 社会体育施設としてスポーツ団体に貸出しています。

使用状況は、担当からの資料では、グラウンドが八十九回、体育館が実際に百二十七回で桐原地区の体育祭り、敬老会、少年野球、グラウンドゴルフ等、スポーツ広場、イベントホールとして活発に活用している。

この様に市では、活性化を図る等、廃校後のグラウンド、体育館を開放し利用を奨励しているにもかかわらず飲料水の全面

飲料禁止措置を取っている。禁止措置の理由は。

答弁 教育学習課長 一般開放していますが塩素滅菌を現在、行っていないので飲料水に不適なので水筒持参の利用が現状です。

地区の自治を担っている区長会と協議を行い禁止措置を取ったのか。

答弁 教育長 現在水筒持参で対応しているが、費用対効果いろいろな面で関係があるので地元のように要望が出ればというように思っています。

市は要請した地域振興協議会に出席せず説明責任を果たしていません。僅か数分で出来る塩素滅菌検査を復活することが費用の面でも将来の跡地活用の為にも最善の方策であり善処を求める。

答弁 副市長 善処を求めるといって指摘がございます。真摯に受け止めて協議を進めさせて頂きま

す。

す。



久嶋成美 議員

その他質問

- ◆「上野原二十名山」と八重山トレイルレースについて
- ◆指定管理者の契約内容について

通学路の安全対策について

質問 通学路の安全確保に対する計画等はあるか。

答弁 教育学習課長 今年度、文科省の通達により、通学路の一斉点検が行われました。小学校五校を対象に三十三ヶ所の危険箇所が示され、学校、警察、道路管理者は、それぞれの立場で対応を考えていく事になっています。

再質問 歩道と車道の区別がつかないところは、どのようにする予定か。
答弁 教育学習課長 それぞれの道路管理者に対して対応をお願いしてあります。

答弁 長寿健康課長 今、行程を検討しており、調整ができましたら報告させていただきます。

意見 子供達の安全を第一に考えて、通学時間帯は必ず避けていただきたい。

再質問 市政報告書について

質問 市政報告書第二号の行財政改革、地方債を二

年間で十四億円返済とあるが、何年から何年までの二年間なのか。
答弁 市長 これは私の政治活動に関するもので、この場でのコメントは控えさせていただきます。

再質問 前回は答えていたので今回も答えていただきたい。
答弁 市長 今お話ししましたように、この場での答弁は控えさせていただきます。

再質問 それでは答えにならない。「一般会計における地方債起債残高を二十二年度百四十九・六億円に、二十三年度で

百四十四・二億円と借金体質を改善し公表しました」とあるが、市民は、借金はこれだけだと思っ

てしまう。そうではなくて、上野原市としては合併特例債も借金の一つ

で、今現在二十三年度決算額で借金が百九十九億二千六百万円、二十四年度の見込みでは二百億円

を超えます。増えるのです。そういう事も説明しないと、市民は誤解する

と思います。
答弁 市長 政治家江口英雄としての政治活動に関する報告ですので、それ以上のコメントはいたしません。

意見 市民の税金を使ってやっている事業ですから説明責任があると思います。単なる市長自身の政治活動の一端ではないはず。



長田喜巳夫 議員

その他質問

- ◆観光振興について
- ◆まちづくり・地域づくりについて

自然エネルギーの活用について

質問 昨年の原発事故を機に太陽光発電に着手する企業が続出している。

積極的に企業を受け入れ、財源の確保と原発に頼らない社会を構築すべきである。
答弁 生活環境課長 県と協議をするなか、候補地の絞り込みを行い、メガソーラー設置事業者から提案を受けています。誘致に向け取り組んでいきます。

質問 個人住宅への補助金の増額は。

答弁 市長 増額している、より多くの家庭で太陽光パネルを設置できるようにしていきます。

質問 小水力発電は、公共施設等で活用すること

を視野に取り組むべきである。見解は。
答弁 生活環境課長 市内四カ所の河川等を調査してきました。課題等を検証し、PR効果もありま

すので、さらに詳細に調査を進め適地の発掘に努め、公共施設を優先に取り組んでいきます。

質問 消防の広域化について

質問 県消防広域化推進協議会の状況は。
答弁 消防総務課長 県内一消防本部での消防広域化については、二十四年十一月二十日の第八回山梨県消防広域化推進協議会で、県内十消防本部の統合は、断念することになり、同協議会は解散となりました。

質問 消防指令台の共同運用は。

答弁 市長 東日本大震災を踏まえて、大規模災害への迅速な対応が図られること、費用面でも効果が期待できる消防指令センターの共同整備、共同運用方式を最優先に、三市で共同運用検討会、勉強会を重ねてきました。

上野原・大月・都留の市長の合意に基づき、本年度末までに前向きに消防

指令センターの共同運用について協議を進めていきます。

質問 自治基本条例制定の現在の状況は。

答弁 企画課長 自治体運営の基本的理念や基本原則を定めるものであり、市民への十分な周知、理解が必要であります。市民や有識者を含め、広報十二月号に掲載した流れで制定の検討をしていきます。

意見 日程が見えてきません。早急に時期を明確にすべきです。

質問 産・学・官協働のまちづくりと大学との連携は。

答弁 企画課長 帝京科学大学と福祉、環境、教育、災害時の救急消防援助隊の受入れ駐車場としての協定などを結んでいます。このほか、動物ふれあい広場や旧桜井小学校の「のっばら自由塾」など、大学の活動へも協力をしています。





村上信行 議員

その他質問

- ◆教育委員(会)と教育行政のあり方について
- ◆もみじホールの社会教育施設としての充実について

平和宣言都市モニュメントについて

質問 市役所に新しいモニュメントが建ったが、その目指すものは何か。

答弁 総務部長 文章は前ものを一部訂正し移したと理解してください。

答弁 市長 市は平成十八年に核兵器廃絶平和都市宣言を行っております。

この宣言では被爆国として、核兵器廃絶と軍備縮小を求め、恒久平和実現のために取り組むことを宣言しています。

私もこの宣言のとおりに取り組んでいきます。**ファイバーリサイクルについて**

質問 クリーンセンターに常設されたが、さらに資源ゴミなどと共に回収は。また拠点回収は。

答弁 生活環境課長 回収業者が善意で運んだ事例はあるようだが、雨天等を考え回収車での回収はしていません。拠点回収については場所の増設を進めています。

意見 善意を否定することのないように。

市立病院の婦人科開設について

質問 週一回であるが婦人科が開設されたが、産婦人科への道すじは。

答弁 市長 将来の産婦人科への一歩と考えているが、その前に現在常勤医が少なく、外来も週一回の科もあり、この問題を最優先にしたいと思えます。

与謝野鉄幹、晶子の歌碑建設について

質問 今議会の予算に一部分が計上されているが、その後については。

答弁 経済課長 国民文化祭にあわせ観光資源としてパンフレット「上野原水辺の風景」に歌を盛り込み、フットパス事業として活用する。今後は実績を踏まえ考えます。

意見 教育資源としての活用を答えて欲しかった。**食物の放射線検査は**

質問 県教委は四月から給食の食材検査を始め、さらに不安解消のため調理後の給食の検査を始めたが、本市は申し込まなかった。その理由は。

答弁 教育学習課長 調理後のものを検査するもので、万一放射線が出た場合、既に食べた後の検査であったら安全性が担保できないし、具材の特定が難しいです。また「教育委員会はどのように対応するか」と言われても対応策がありません。大月・都留でもしていません。

意見 法律の目的を否定したような考えと、他市を理由とするのはおかしい。

鳥獣被害対策について

質問 駆除の補正がなされたが、発想を変えた抜本的な解決法は。

答弁 経済課長 駆除だけでは抜本的な解決にならないので、地域と共に総合的に考える必要があります。

子ども・子育て関連三法について

質問 社会保障改革の中で、子ども・子育て関連三法が成立、その結果、総合的に子育て支援を進める法律改正となった。

①「子ども・子育て会議」の設置について市の考えは。②「子ども・子育て支援事業計画」の策定は。③地域のニーズ調査は。④子育て会議設置やニーズ調査、管理システム導入などの子ども・子育て関連予算の確保対策は。⑤新設保育所建設計画は地域の総合的な子育て支援施設として「地域子ども・子育て支援拠点施設」に特化してはどうか。⑥へき地保育所の扱いは。⑦病児・病後児保育は市立病院へ委託すべきだ。⑧市立病院のキッズルームに待合用モニタールーム及びトイレ内にベビーカーの設置が必要では。

答弁 市長 子ども・子育て関連三法については、来年度から具体的な作業に取り組む予定で。

答弁 教育長 市の状況にあった幼児教育、保育の構築に向け、関係部署と協議をしていきます。

答弁 福祉保健部長 二十五年年度から子育て支援施策の把握、評価、区域の設定など、子ども・子育て支援事業計画の検討並びにニーズ調査を行うに当たり、子ども・子育て会議の設置を検討します。建設予定の保育所はゆとりスペースで「子育て支援拠点」として位置づける予定で、へき地保育所の扱いは県と検討中です。

答弁 長寿健康課長 病院のキッズルームの案内板は設置を検討し、トイレのチャイルドチェアは設置の有無を確認します。

市職員勤務評定条例

質問 人事異動に勤務成績報告及び勤務成績結果は生かされているか。十月一日付で現場管理職員と指導監との入替え人事

異動があったが、現場管理は誰が引き継ぐのか、不可解な人事異動だ。勤務時間中に政治家のホームページ等を見る事は地方公務員法三十五条職務専念義務違反だ。人事管理者がこうした行為を認識しながら未対応であるならば監督責任が問われ、行財政改革大綱に則していない。「義を見てせざるは勇なきなり」だ。

答弁 市長 若い職員に現場の経験をさせることは非常に大切です。

答弁 総務部長 職員が庁内ネットワークを私的に利用した場合、職員が職務に反する事態の発生として上司への報告や当人の聞き取り等の上、必要な指導、処分を行い、職務遵守を促す必要があります。

答弁 副市長 各人が公務員としての姿勢をいまい度問うて、市民の皆様方の負託に応えていくという気持ちでおります。

久島博道 議員

その他質問

- ◆情報通信基盤整備

度から具体的な作業に取り組む予定で。

答弁 教育長 市の状況にあった幼児教育、保育の構築に向け、関係部署と協議をしていきます。

答弁 福祉保健部長 二十五年年度から子育て支援施策の把握、評価、区域の設定など、子ども・子育て支援事業計画の検討並びにニーズ調査を行うに当たり、子ども・子育て会議の設置を検討します。建設予定の保育所はゆとりスペースで「子育て支援拠点」として位置づける予定で、へき地保育所の扱いは県と検討中です。

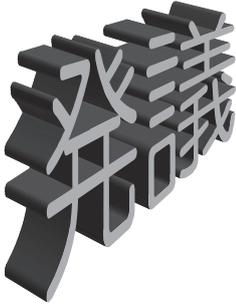
答弁 長寿健康課長 病院のキッズルームの案内板は設置を検討し、トイレのチャイルドチェアは設置の有無を確認します。

市職員勤務評定条例

質問 人事異動に勤務成績報告及び勤務成績結果は生かされているか。十月一日付で現場管理職員と指導監との入替え人事

異動があったが、現場管理は誰が引き継ぐのか、不可解な人事異動だ。勤務時間中に政治家のホームページ等を見る事は地方公務員法三十五条職務専念義務違反だ。人事管理者がこうした行為を認識しながら未対応であるならば監督責任が問われ、行財政改革大綱に則していない。「義を見てせざるは勇なきなり」だ。

答弁 市長 若い職員に現場の経験をさせることは非常に大切です。



地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布されたことに伴い、会議規則の一部改正が行われました。

今回の地方自治法改正は、地方公共団体の議会及び長による適切な権限の行使を確保するとともに、住民自治の更なる充実を図るため、議会の招集及び会期、議会運営、議会と長の関係、直接請求制度等について必要な改正が行われました。

このうち、議会運営に関する事項の改正は、これまで委員会のみ明確に認められていた公聴会の開催及び参考人の招致を、本会議でも適用できることとなりました。

平成25年第1回定例会 会期日程のお知らせ

- 二月二十二日(金)本会議(初日)
- 二月二十五日(月)市政一般に関する質問
- 二月二十六日(火)市政一般に関する質問
- 二月二十七日(水)市政一般に関する質問(予備日)
- 二月二十八日(木)総務常任委員会
- 三月四日(月)文教厚生常任委員会
- 三月五日(火)建設経済常任委員会
- 三月七日(木)予算特別委員会
- 三月八日(金)予算特別委員会
- 三月十一日(月)予算特別委員会(総括質疑を含む)
- 三月十四日(木)本会議(最終日)

※正式には、定例会の本会議(初日)において決定します。

10月～12月 議会活動

10月

- 2日 赤い羽根共同募金街頭募金運動
- 5日 議会だより編集常任委員会
- 6日 大鶴地区敬老会
第52回秋山体育祭り
- 7日 第28回甲東体育祭り
第32回巖体育祭り
西原地区敬老会
- 9日 第248回山梨県市議会議長会定期総会
- 12日 山梨県出身殉職隊員追悼式（自衛隊）
議会だより編集常任委員会
- 13日 第21回西原ふるさと祭り
- 14日 第27回西部地区民運動会（上野原地区）
- 19日 議会だより編集常任委員会
- 20日 上野原地区敬老会
- 23日 平成24年度青色申告推進委員会総会
- 24日 文教厚生常任委員会
第8回上野原市民ゴルフ大会表彰式
- 28日 長寿の里祭り（桐原地区）
- 30日 議会だより編集常任委員会

11月

- 8～9日 建設経済常任委員会視察研修（栃木県茂木町）
- 10日 平成24年度上野原市社会教育研究大会
- 15日 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合議会議員協議会
- 17日 第11回あきっこ発表会（秋山地区）
- 18日 第8回上野原市バレーボール連盟秋季大会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 23日 平成24年度上野原市農林業まつり
- 25日 第8回上野原市民合唱祭
- 29日 第4回定例会（開会）

12月

- 3日 市政一般に関する質問
- 5日 市政一般に関する質問
- 6日 総務常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 12日 建設経済常任委員会
- 14日 第4回定例会（閉会）

市民の声



上野原市農業委員会
会長 足立一男さん

「夢のある農業を目指して」

東日本大震災、東電原発事故から二年になりましたが、なかなか復興の兆しが見られません。生命・財産・田畑は奪われ、厳しい状況が続いています。早期復興を心から応援しています。

さて、上野原市においては、首都圏への通勤者も多く、若い人の農業離れや少子高齢化社会に入り、農業が非常に厳しい状況です。農業委員会としては、市や県と連携し、農業離れを食い止める必要があると思います。

そのため、各農業委員が地域農業者の代表として、農業制度のさらなる普及・浸透に努めると共に、農地の有効利用や担い手の確保も全力で尽くす必要があると考えます。

また、環太平洋経済連携協定（TPP）による農産物の貿易自由化への動きもあり、まさに激動の時代を迎えています。このような中で、農業や農村現場の声、実態を農業政策に反映していくことが重要です。遊休農地を活用し、休

日を利用して、野菜などを育ててみても楽しい時間が過ごせると思います。是非始めてみませんか。



あしがき

私たち編集委員は、議会だよりの編集を二年間担当させて頂いたのですが、この第三十二号をもってその勤めを終え、今後発行される議会だよりの編集は新たに選出される委員で行われます。

日々読まれ、親しまれ、役に立つ議会だよりの編集・発行に委員一同全力投球で取り組んでまいりました。今後も皆様に分かりやすい議会だよりを目指し、市民の皆様よりご意見を頂けたら幸いです。



議会だより編集常任委員会

- 委員長 山口好昭
副委員長 杉本友栄
委員 川島秀夫
委員 小島宏之
委員 東山洋昭
委員 氏家隆信

発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地
編集 / 上野原市議会だより編集常任委員会 TEL : 0554-62-3344(直通)
URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>
E-mail : gikai@city.uenohara.lg.jp

印刷 / カヤマ印刷
上野原市上野原 3768
TEL 0554-63-0188